



令和9年2月期 第2四半期(中間期) 決算説明資料

岡谷鋼機株式会社

令和8年9月30日

1. 連結経営成績
2. 連結財政状態
3. 株主還元
4. 設備投資
5. トピックス

1. 連結経営成績

- ・当中間期の売上高は前年同期比555億円増の6,262億円
- ・純利益は前年同期比27億円増の190億円

単位：億円

	令和8年2月期 中間期	令和9年2月期 中間期	前期比増減（増減率）
売上高	5,706	6,262	+555(+9.7%)
売上総利益	523	550	+27(+5.2%)
販売費及び一般管理費	310	315	+5(+1.8%)
営業利益	213	234	+21(+10.2%)
経常利益	244	272	+28(+11.7%)
親会社株主に帰属する 中間純利益	162	190	+27(+17.2%)
1株当たり 中間純利益	422.63円	495.31円	+72.67円
期末人員	6,578名	6,582名	+4名

※1 単位未満を切捨てて表示しており、増減額が一致しないことがあります。

※2 当社は、令和8年6月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。
これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり中間純利益を算定しております。

連結子会社数	78社	78社	—
持分法適用会社数	22社	22社	—

1. 連結経営成績



OKAYA & CO., LTD.

■ 上期 ■ 下期

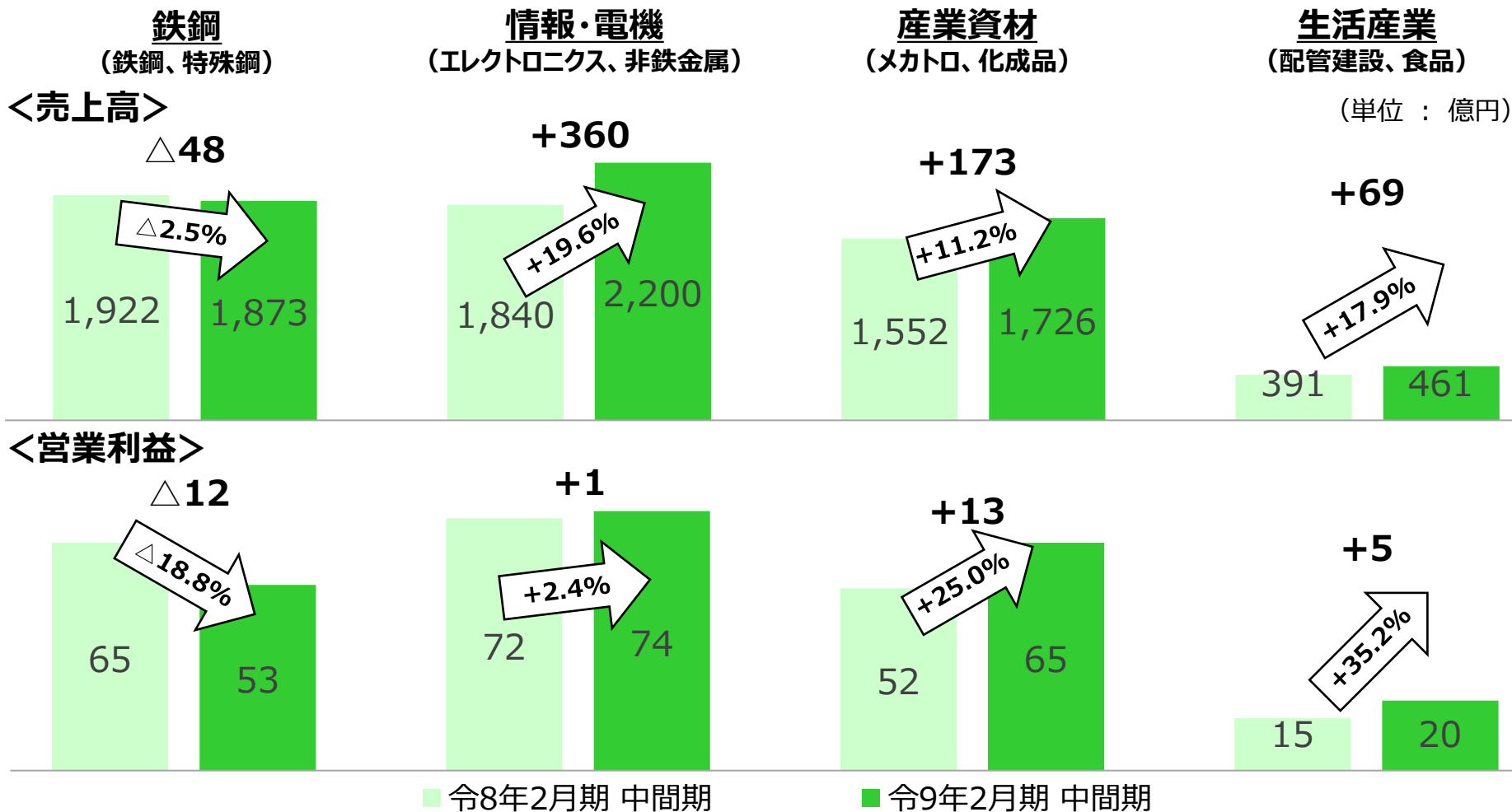
単位：億円



※ 単位未満を切捨てて表示しており、合計額が一致しないことがあります。

1. 連結経営成績<セグメント別>

<鉄 鋼> 鉄鋼は建材関連が低調。特殊鋼は半導体及び産機向けが増加。海外は欧米向けが減少
 <情報・電機> エレクトロニクスは車載部品及び半導体関連が増加。非鉄金属は自動車関連及び環境配慮型材料が増加
 <産業資材> メカトロは自動車関連及び航空機向け部材が増加。化成品は自動車関連が増加
 <生活産業> 配管建設は配管資材が増加。食品は畜産物の輸入取引が増加



1. 連結経営成績<売上高内訳>

- ・主に情報・電機セグメントにおいて国内取引が増加し、海外取引比率は1.8ポイント減の34.9%
- ・向け地別では国内・アジア向けが増加

単位：億円

取引形態別		令和8年2月期 中間期		令和9年2月期 中間期		前期比増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
取引形態別	国内取引	3,612	63.3%	4,077	65.1%	+464	+12.8%
	海外取引（*）	2,093	36.7%	2,184	34.9%	+91	+4.3%
	合 計	5,706	100.0%	6,262	100.0%	+555	+9.7%
向け地別	国内向け	4,109	72.0%	4,490	71.7%	+381	+9.3%
	アジア向け （中国除く）	661	11.6%	832	13.3%	+171	+25.9%
	中国向け	308	5.4%	322	5.1%	+13	+4.4%
	欧米他向け	627	11.0%	616	9.9%	△10	△1.7%
	合 計	5,706	100.0%	6,262	100.0%	+555	+9.7%

※単位未満を切捨てて表示しており、増減額が一致しないことがあります。

* 海外取引＝海外売上高に輸入品売上高を加えたもの

2. 連結財政状態

- ・当中間期末の総資産は前期末比70億円増の1兆82億円
- ・自己資本比率は0.1ポイント増の49.7%

単位：億円

	令和8年2月期 期末	令和9年2月期 中間期末	前期比増減
総 資 産	10,011	10,082	+70
(流 動 資 産)	5,219	5,416	+197
(有 形 固 定 資 産)	805	821	+15
(投 資 有 価 証 券)	3,219	3,055	△163
(そ の 他 の 固 定 資 産)	766	788	+21
負 債	4,834	4,847	+12
(流 動 負 債)	3,389	3,488	+99
(固 定 負 債)	1,444	1,358	△86
純 資 産	5,176	5,234	+58
自 己 資 本 比 率	49.6%	49.7%	+0.1%
有 利 子 負 債	1,613	1,756	+142

※単位未満を切捨てて表示しており、増減額が一致しないことがあります。

3. 株主還元

- ・当社は、株主に対する利益還元を企業経営の重要政策の一つと考えており、競争力を維持・強化して株主資本の充実に努めつつ、配当を行うことを基本方針としています
- ・より投資しやすい環境を整えるため、令和8年6月1日付で普通株式1株を2株とする株式分割を実施いたしました。株主優待制度は、株式分割後も優待基準を変更せず、拡充しております

□配当予想

単位：円

	令和5年2月期 実績	令和6年2月期 実績	令和7年2月期 実績	令和8年2月期 実績	令和9年2月期 予想
第 2 四 半 期 末	30.00	31.25	33.75	37.50	45.00
期 末	31.25	33.75	37.50	43.00	(45.00)
年 間 配 当	61.25	65.00	71.25	80.50	(90.00)

※令和6年9月1日および令和8年6月1日を効力発生日として、株式分割を実施しております。
表に記載の配当は、これらの株式分割を考慮し、令和5年2月期に遡り調整した金額を記載しております。

□株主優待（一般株主様向け優待）

優待内容	保有株式数（分割後）	権利確定日	発送時期
愛知県産米 山の幻ミネアサヒ 5Kg	400株以上	8月末	10月下旬
	100株以上	2月末	4月下旬

□株主優待（長期保有株主様向け優待）

優待内容	保有株式数（分割後）	権利確定日	発送時期
図書カード 2,000円相当	200株以上	8月末	10月下旬
		2月末	4月下旬

※一般株主様向け優待に加え、半期毎(2月末及び8月末)に発行される最終株主名簿に、同一株主番号で連続6回以上記載されていることを条件として贈呈いたします。発送は通常の株主優待とは別送となります。

4. 設備投資



OKAYA & CO., LTD.

- ・当中間期の設備投資額はシステム関連や物流倉庫、工場設備、事務所設備等を中心に63億円
引続き競争力強化に取組み、通期では159億円の設備投資を計画

単位：百万円

	令和9年2月期 中間期（実績）	令和9年2月期 （予定）
設 備 投 資 額	6,355	15,900
＜主な内容＞		
物流倉庫 増改築等	894	2,400
賃貸用資産 設備	155	700
事務所設備等	1,070	2,400
工場設備（海外）	471	1,700
工場設備（国内）	733	2,300
金型	349	600
システム関連	1,937	4,500
その他	746	1,300
減 価 償 却 費	3,126	6,400

5. トピックス

年月	内容
令和8年 6月	<u>株式分割 及び 株主優待制度の一部変更</u> 投資家の皆様がより投資しやすい環境を整え、投資家層の更なる拡大と当社株式の流動性の向上を図ることを目的として、令和8年6月1日に普通株式1株を2株に分割しました。一方で、株主優待制度は、株式分割後も優待基準を変更せず、拡充いたしました。
6月	<u>鉄筋BIM モデル簡易作成ソフト販売開始</u> 建設業界における業務効率化に寄与する取り組みとして、構造設計会社である株式会社RitaX（リタックス）が開発したAutodesk Revit* 向け鉄筋 BIM モデル簡易作成ソフト「Rebar system（リーバーシステム）」の販売を開始しました。* 建築・土木分野で世界的に広く利用されているBIMソフトウェア
7月	<u>チャリティーコンサートの開催</u> 第14回目となる「OKAYAチャリティーコンサート 2026 ～感謝の夕べ～」を開催しました。チケット売上金とマッチングギフト、来場者からの募金を合わせ、約370万円を愛知県共同募金会へ寄付いたしました。
8月	<u>NAGOYA GROOVIN' SUMMER 2026を開催</u> 2008年より続く学生ジャズビッグバンドの祭典（NAGOYA GROOVIN' SUMMER）の趣旨に賛同し、今年度から公益財団法人名古屋市文化振興事業団との共催により、岡谷鋼機名古屋公会堂にて開催しました。
9月	<u>愛知・名古屋2026大会（アジア競技大会・アジアパラ競技大会）に協賛</u> 「第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）」および「第5回アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋）」にオフィシャルサプライヤーとして協賛しています。

ものづくりに貢献する
グローバル最適調達パートナー
岡谷鋼機株式會社

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する予測は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢および、当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、実際の業績等は様々な要因により変更される可能性があります。当社は新しい情報、将来の出来事に基づきこれらの将来予測を更新する義務を負うものではありません。